

## 母子感染症で悲しむ母子を無くしたい!

妊娠中にワクチンがない「トキソプラズマ」「サイトメガロウイルス」に初感染し、障がいをもって生まれてくる赤ちゃんが増えています。  
トーチの会では、認知度の低いこの感染症に対する正しい知識を、妊婦さんに知ってもらうため、様々な啓発活動を行っています。

多くの妊婦さんが知らない!!

### 妊娠中の初感染が怖い、トキソプラズマとサイトメガロウイルス

トキソプラズマとサイトメガロウイルスは、健康な人が感染しても基本的に問題はない、身边にありふれた病原体です。しかし、妊娠中に初めて感染した場合、胎児にも母子感染して障害をもたらす可能性があります。妊娠前に既に感染している場合、免疫がついているので、母子感染の危険は低いですが、もしも感染したことがあった場合は、母子感染の危険が極めて高くなります。妊娠前に感染したかどうかは、医療機関における抗体検査（任意）によって調べることができます。過去の感染がわからない場合と感染したことがなかった場合は、現在妊娠を望んでいる女性や、妊娠中の方は、日頃の生活習慣による感染予防が必要になります。

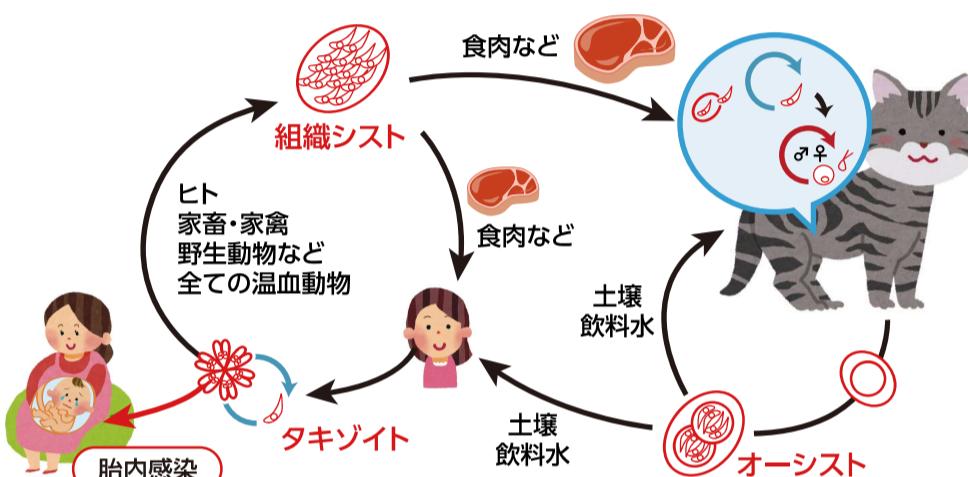
#### トキソプラズマ に感染しないためには?



- ・生肉や加熱不十分な肉※を食べない。
- ・土いじりを避ける/生水・井戸水は避ける
- ・猫の糞に触らない/新しく猫を飼わない



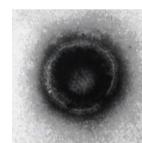
#### トキソプラズマの感染経路



トキソプラズマの重要な感染経路は**非加熱の肉、土、感染したばかりのネコの糞**。  
汚染された水やサラダに付着したオーシストから感染した例もある。

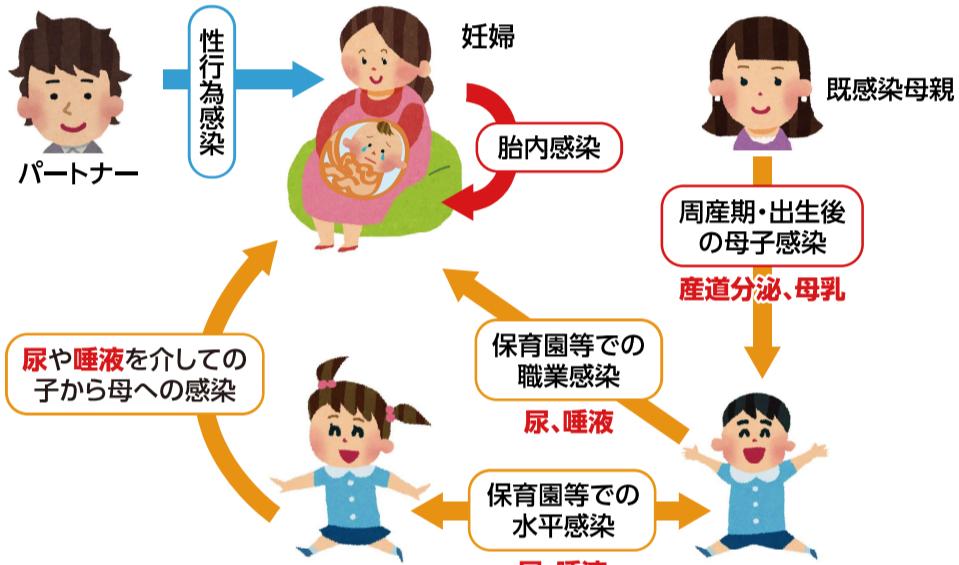
※生ハム、ローストビーフ、レアステーキ、肉のパテ、生サラミ、生ベーコン、ユッケ、馬刺し、鳥刺し、鹿刺し、エゾシカのレアステーキ、鯨刺し、ヤギ刺し、加熱が不十分なジビエ(野生の鳥獣)料理等

#### サイトメガロウイルス に感染しないためには?



- ・子供の尿・尿に注意し、石鹼でしっかり手を洗う
- ・子供と箸やスプーンを共有しない
- ・性行為の際は、コンドームを使用する

#### CMV(サイトメガロウイルス)の感染経路



CMVの重要な感染経路は、**子どもの尿や唾液との「接触感染」**。（飛沫感染ではない）  
上の子や小さな子と関わるとき、キス、おむつ替えや食事介助の際などに注意する。

トキソプラズマについて詳しくは ⇒ <http://toxo-cmv.org/toxo.html> 猫とトキソプラズマについて ⇒ <http://toxo-cmv.org/toxo/cat/index.html> サイトメガロウイルスについて詳しくは ⇒ <http://toxo-cmv.org/cmv.html>

### 母子感染症を防ぐ為にできること



### トーチの会の活動



講演会・ブース展示

産婦人科、小児科関連の学会や自治体主催の母子感染症をテーマとした企画に、演者として招いていただき、当事者の視点から、母子感染症予防啓発の必要性を訴えています。

会員交流会のほか、積極的に講演会出演、メディア出演を行いトキソプラズマ、CMVの一般への認知に努めています。



メディア出演・雑誌取材

NHKを始め多くのメディア・雑誌・新聞、インターネット配信ニュース等で取材していたとき、妊婦さんのみならず一般の方への関心を高める手助けをいただいている。

啓発パンフレット

当会 HPから無料でダウンロードできます。配布用に大部数必要な場合は、有料で印刷したものをお分けしています。産婦人科での配布のほか、母親学校等での配布もされています。

### 妊娠中の感染予防のための注意事項 11か条

1. 石鹼と流水で、しっかり手を洗ってください。
2. 小さな子どもとフォークやカップなどの食器を共有したり、食べ残しを食べない。
3. 肉は、しっかりと中心部まで加熱してください。
4. 細菌されていないミルクや、それから作られた乳製品は避けましょう。
5. 汚れたネコのトイレに触れたり、掃除をするのはやめましょう。
6. げっ歯類(ネズミの仲間たち)やそれらの排泄物(尿、糞)に触れないようにしましょう。
7. 妊娠中の性行為の際には、コンドームを使いましょう。
8. 母子感染症の原因となる感染症について検査しましょう。
9. B群溶血性レンサ球菌の保菌者であるか検査してもらいましょう。
10. 感染症から自分と胎児の身を守るために、妊娠前にワクチンを打ちましょう。
11. 感染している人との接触を避けましょう。

当事者  
共通の想い

### 知識があれば感染を防げる可能性あった

NHKの報道を見て、上の子の食べ残しの整理などのお世話でCMVに感染することが多いことを初めて知りました。これには、私も心当たりは大有りでした。知りていれば予防できたかもしれません。



体験談 No.6 ひびきさん

なぜ母子感染してしまったのか…この病気を知る機会がなかったこと、知識がなかったことがとても悔やまれ、知らなかつた自分を責めました。



体験談 No.5 みくママさん

妊娠中は食事には気を付けていましたが、妊婦は生肉は絶対食べてはいけないとは知りませんでした。知りていれば防げていたことだったかもしれません。

体験談 No.10 iakさん

先天性感染児を出産した母親は、妊娠中には母子感染症のことを知らなかつたと言います。そして、わが子が感染して初めてその感染症の存在や感染経路を知り、「知りていれば予防できたかもしれない…」という後悔や自責の念に苦しんでいます。

HP「体験談」ページで当事者の体験談を閲覧できます。

⇒ <http://toxo-cmv.org/story.html>